

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

科目名		ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等	
相談援助の基盤と専門職 I			(社) 必修 (精.発) 選択	2	1	前期	
担当教員		研究室	電子メール ID		オフィスアワー		
間嶋 健		B312	ken.majima		水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要		<p>&lt;目的&gt;ソーシャルワークの専門性を理解し、その基盤となる理論や実践的なスキルを身につけることで、ソーシャルワーカーとしての役割や職務を遂行するための基本的な知識・技能・態度を習得する。また、ソーシャルワークにおける歴史的、社会的な形成過程等について理解し、言語化ができることを目的とする。</p> <p>&lt;概要&gt;ソーシャルワークの基本的な理論や倫理的な原則、法的制度や社会福祉制度などについて説明する。また、ソーシャルワーカーとしての役割や職務についても解説する。</p>					
授業形式・方法		<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習)	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク		
学習上の助言		本講義は、ソーシャルワークとして活動する上での基盤となる価値や倫理を解説する。ソーシャルワークに関する倫理綱領や行動指針を熟読しておくこと。					
教科書		最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 11 ソーシャルワークの基盤と専門職 (共通・社会専門) /編：一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟 /中央法規					
参考書		なし					
外部教材		なし					
学生が達成すべき行動目標					関連卒業認定・学位授与方針		
①	ソーシャルワークの形成過程と歴史的背景を理解し、説明することができる。				HSU(1)、WP(1)、(3)		
②	社会福祉士・精神保健福祉士の法的な位置づけについて理解し、説明することができる。				HSU(2)、WP(5)		
③	社会的な問題や社会福祉の対象について理解し、説明することができる。				HSU(1)、(3)、WP(2)、(3)		
④	ソーシャルワークの基盤としての価値・知識・技術について理解し、説明することができる。				HSU(2)、WP(1)、(3)、(5)		
⑤	ソーシャルワークの価値規範と倫理について理解し、説明することができる。				HSU(2)、WP(1)、(2)、(5)		
授 業 計 画							
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)				
1	オリエンテーション (授業の進め方、評価等についての説明、学習方法について理解する) 本科目の意義について理解する	講義	シラバスを精読する。		4		
2	ソーシャルワーク専門職である社会福祉士・精神保健福祉士の法的な位置づけについて学ぶ	講義 グループワーク	教科書の該当章を精読する。		4		
3	ソーシャルワークの概念① ソーシャルワークの定義を学ぶ	講義 グループワーク	教科書の該当章を精読する。		4		
4	ソーシャルワークの概念② ソーシャルワークの構成要素を学ぶ	講義 グループワーク	教科書の該当章を精読する。		4		
5	ソーシャルワークの基盤となる考え方① ソーシャルワークの原理を学ぶ	講義 グループワーク	教科書の該当章を精読する。		4		
6	ソーシャルワークの基盤となる考え方② ソーシャルワークの理念を学ぶ	講義 グループワーク	教科書の該当章を精読する。		4		
7	ソーシャルワークの形成過程① ソーシャルワークの源流と発展	講義 ディスカッション	教科書の該当章を精読する。		4		
8	ソーシャルワークの形成過程② ソーシャルワークの展開期から現在	講義 ディスカッション	教科書の該当章を精読する。		4		
9	ソーシャルワークの倫理を学ぶ	講義 グループワーク	教科書の該当章を精読する。		4		
10	ソーシャルワークにおける倫理的ジレンマ	講義 グループワーク	教科書の該当章を精読する。		4		
11	ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲を学ぶ	講義 ディスカッション	教科書の該当章を精読する。		4		
12	ソーシャルワークにおけるミクロ・メゾ・マクロ	講義 グループワーク	教科書の該当章を精読する。		4		
13	総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容を学ぶ	講義 グループワーク	教科書の該当章を精読する。		4		
14	ソーシャルワーカーとして働く	講義 ディスカッション	教科書の該当章を精読する。		4		
15	ソーシャルワーカーとして、専門職として成長する	講義 グループワーク	教科書の該当章を精読する。		4		
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照						

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		50	30	0	0	20	
総合力指標	知識・技術力	40	0	0	0	0	40
	思考・推論・創造する力	10	30	0	0	5	45
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	15	15
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	期末試験を実施する。期末試験では、①～⑤について、知識の観点から正誤を判断する問題を出題する。				試験の解答例を Teams にて提示する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	講義内容の要約と感想をリアクションペーパーとして提出する。理解度を確認し意欲的に学ぶ姿勢を評価する。				講義中にフィードバックする。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教員の実務経験	社会福祉士資格取得後 20 年の実践経験を有する。						
実践的授業の内容	ソーシャルワーカーを巡る主要な概念や関連制度について、実践現場の事例を用いて解説する。高齢者福祉の概念の理解にあたっては、実践的な事例を活用し現場感覚を涵養する。						
そ の 他	<p>【履修についての条件】</p> <p>*社会福祉士、精神保健福祉士国家試験受験を希望する者は必ず履修すること。</p> <p>【受講する際の注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本科目は登校型授業であるため、大学が示した感染症予防対策の指針を遵守すること。また感染症予防対策の観点から、教員の指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。その場合、授業は欠席として取り扱う</li> <li>・今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によってシラバスの変更があり得る。</li> </ul>						